

## 第2回「Together Actions For SDGs」(イオンモール株式会社がインドネシアで9月11日～15日に開催)に出展

ジャパンプレミアムベジタブル株式会社(JPV)は、イオンモール株式会社が開催した第2回「Together Actions For SDGs」に参画し、2024年9月11日～15日にインドネシア AEON Mall BSD Cityにおいてパネル展示を行うとともに、試食会を実施しました。

JPVは、「世界のどこでも“おいしい笑顔”を」をテーマに、農林水産省の研究事業の成果である「太陽光型植物工場による高温多湿地域での高品質イチゴ・トマト多収化技術」の社会実装に取り組んでいます。2022年よりバンドン市のパジャジャラン大学農学部(以下UNPAD)と共同でITグリーンハウスソリューションを用いた日本品種イチゴのインドネシアでの周年栽培について実証実験を行い、現在商業化の準備を取り進めています。

第2回「Together Actions For SDGs」は、カンボジア・インドネシアにおいて、国際社会共通の目標であるSDGs「持続可能な開発目標」を、よりわかりやすく説明する機会をつくることを目的に、イオンモール株式会社が開催した企画であり、JPVは、インドネシアに様々なプロダクトやサービスを提供する日系スタートアップ企業の一つとして参画・出展しました。

今回の出展においては、SDGsの17の目標の中から特に「13. Climate Actions」「11. REDUCED INEQUALITIES」を取り上げ、この二つの目標に対し、JPVがどのように貢献していくか、そのアプローチについて、パネル展示等で分かり易く説明するとともに、JPV技術に基づき、UNPAD内で栽培・収穫した日本品種イチゴや現地産イチゴ、さらには輸入イチゴを含めて、ブラインド方式での試食会を実施しました。

試食会では、来場いただいた皆様が、美味しいイチゴを食された際の笑顔を撮影する「Happy Smile Photo」、好みのイチゴの順位付けをしていただく「Your Best Favorite」などのイベントを行いました。

「Happy Smile Photo」では、沢山の皆様の“おいしい笑顔”を撮影するとともに、「Your Best Favorite」では、JPV技術で栽培した日本品種イチゴが、圧倒的差をもって1位を独占する結果となり、日本品種イチゴに対する現地消費者からの大きな期待、および今後のインドネシアでの巨大な市場性を確認することが出来ました。

JPVは、今回のイベント結果に基づき、インドネシアにおいて日本品種イチゴの商業栽培に関する取組みを加速し、SDGsに向けての貢献ならびにインドネシア現地市場からの要請に応えるべく事業化を取り進めていきます。

問い合わせ先

ジャパンプレミアムベジタブル株式会社

[info@jpveg.co.jp](mailto:info@jpveg.co.jp)

### 【写真】

